

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年3月3日

団体名 バリアフリーミュージカル劇団『夢バグ』

代表者 丹羽 朱見

構成員 8人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

ミュージカルの練習という形をとりながら、障がいの有無にかかわらず、共働することの楽しさを皆に味わう。練習の成果を広く発表すること。バリアフリーの理念を、一般の方々に発信していく。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
毎月1、3日曜 24.4~25.3	なづみん or 岩津市民センター	スタッフを含む 劇団員	16名	ミュージカルの練習という形をとりながら、障がいの有無にかかわらず、共働することの楽しさを皆に味わう。
8月10日	せきいホール	シルバーカレッジ 岡崎会員の高 齢者の皆さん	100名位	シルバーカレッジ会員の皆さんに向けて、劇団の趣旨、沿革をプレゼンした後、ミュージカル上演
11月23日	岡崎市民会館	就学前小学生の 障がい児とその 保護者	150名位	中根市長と代表の福祉トークの後、会場にいる子どもたちをステージに上げてのふたのしきショーの展開。
11月30日	せきいかん	市民のみなさん	150名位	来(25年)秋に行なわれる本公演のための練習を公開レズンという形で皆さんに見ていただく。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

バリアフリーミュージカルの思想、理念などを多くの層に発信し、実際にミュージカルを見てもらうことができた。受け取り側からの様子を感じたのは、それとこれの問題点で、私たちは関与できない。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

今期は例年になく、多くの層(高齢者、就学前障がい児など)に発表することができた。また、障がい故に他の劇団に入れない、軽度障がい者数人を仲間として迎い入れることができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。